



草の根

BULLETIN OF THE AICHI COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

発行
原水爆禁止愛知県協議会
発行人 佐竹康行
〒461-0004
名古屋市中区葵1-22-26
Tel(052)932-3219
fax(052)931-2651
gensuikyo@lime.ocn.ne.jp
毎月1回 6日発行
月40円/年間480円



昨年11月27日から12月1日にニューヨークの国連本部で開催された、核禁条約第2回締約国会議に愛知県から4名が参加しました。その内2名、愛知県原水協代表理事の大村義則さん、愛友会理事長の金本弘さんの報告・感想をご紹介します。

記事は一部抜粋・編集しています。全文、愛知のうたごえの佐藤俊隆さん、佐竹県原水協事務局長の感想、また締約国会議での日本のNGO代表の発言などをまとめた「第2回TPNW締約国会議・活動の記録」を作成しました。ぜひ、ご覧ください。

核兵器のない世界をめざし 被爆80年へ向け大きな前進を

愛知県原水協代表理事 大村 義則

核兵器禁止条約第2回締約国会議に、条約の規定で言えば、第8条5項の「関連するNGOは、締約国会議と再検討会議にオブザーバーとして招待される」にもとづいて、本会議に参加した。本会議を傍聴したわけだが、単なる傍聴ではなく、わたしたちNGOの代表者が各国政府代表と同じ席で討論をしている姿を見る事ができたのは、これまでの条約にもとづく国連での会議と大きな違いを実感する事ができた。特に、日本被団協を代表した木戸事務局長の発言が核兵器の非人道性をもとにした条約の規範力の強化をすすめる議論のベースをつくったことは大きかった。また、土田日本原水協国際部長と平野新婦人副会長も本会議で発言し、日本からのNGO代表が、合わせて3人も発言したことは、日本政

府がオブザーバー参加もしていない中で、被爆国の国民を代表した会議成功への大きな貢献になったと思う。わたしたちはNGOの傍聴席から、良い発言に拍手を送り、「政治宣言」の採択に大いに寄与できたと思う。今回の締約国会議は、条約の普遍化について議論がすすんだ。特に、非核地帯条約との関係からさらに批准国が広がる可能性が追求される。また、普遍化のためのもうひとつの側面である核兵器の非人道性については、核被害者の証言に焦点が当てられ、参加した被爆者が大きな役割を果たした。今後は、核被害者を援助する信託基金が検討される。現在の情勢において、なによりも、「核抑止力論」の克服が大きなテーマとして挙げられ、今回の締約国会議までに「核抑止に基づく安全保障概念に挑戦」する報告書の作成が決定されたことは、大きな意味をもつものだと思う。

ウクライナやパレスチナでの戦争状態を目の当たりにすると、「国際法が存在するのは国際法の教科書の中だけだ」と言いたくもなる。しかし、中満国連事務次長は、「国連は無効ではない」、「国連は無力ではない」、「国連は安全保障理事会ではない」と述べて、「核の使用や核による威嚇は絶対に許してはならない」という強力な規範、メッセージを発信している。これは現在の安全保障環境の危機感のあらわれで、核兵器禁止条約が果たしている注目すべき役割のひとつだ」と会議で強調した。そのとおりだと思ふ。それを後押ししているのが、わたしたち市民社会の運動だ。ニューヨークでは、国連の会議場で傍聴していただけない。国連本部前の広場で反核平和集会を開き、金本愛友会理事長がスピーチとともに「原爆を許すまじ」を歌い、大きなインパクトを与えた。マンハッタンの街中をアメリカの平和団体とともにデモ行進し、時には、現地の「ガザ連帯デモ」とも遭遇した。国連の議場の中からだけではなく、社会の運動から変化をつくるためにニューヨークで運動してきた。

今や、国連から、「市民社会」と呼ばれる私たちの運動は、各国政府と同じ立場で役割を期待されていることを自覚して、今後の平和運動に取り組んでいきたい。

●代表理事 小池まり子 (新婦人愛知県本部副会長)
●事務局 林達也 (自治労連愛知県本部委員長)
●事務局 服部守延 (愛商連会長)
●顧問 大村義則 (被爆二世)
●顧問 武藤貴子 (名古屋市職労委員長)
●顧問 西尾美沙子 (愛労連議長)
●顧問 加藤聡也 (愛高教委員長)
●顧問 小島俊樹 (愛知県平和委員会理事長)
●顧問 樽井直樹 (弁護士)
●顧問 安間慎 (原水協代表理事)
●顧問 佐竹康行 (原水協代表理事)
●顧問 沢田昭二 (原水協代表理事)

新しい年を迎え 心新たに がんばります
愛知県原水協 33加盟団体/35地域原水協 役員一同



12月10日(日)、春日井市高蔵寺で「第40回高蔵寺弾薬庫一周平和マラソン」が開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大以来4年ぶりの一般ランナーの参加となり、当日は、春日井市長からのメッセージ、共産党、民主党からあいさつがありました。

マラソンは16km、8km、3kmの3つの距離で行われ、120人のランナーが弾薬庫の撤去をアピールしながら走り出しました。

スタート・ゴール地点の公園では、新婦人地

マラソン会場で原爆パネルと 高校生の絵画を展示



と平和委員会が、あたたかいうどんやおにぎり、豚汁などの模擬店を行い、ランナーや要員だけでなく、近所に住む人もお盆をもって買いに来る人もいました。

県原水協は原爆パネル展と高校生が描いたヒロシマの絵画を展示し、署名も集めました。初めて参加する人は、「こんな街中に弾薬庫がある」と驚いていました。

被災70年 2024年3・1ビキニデー

2024年3・1ビキニデーは、2月28日(水)にビキニ被災70年記念シンポジウム、29日(木)に日本原水協全国集会・全体集会&分科会、3月1日(金)に被災70年3・1ビキニデー集会在開催されます。愛知県原水協は29日(木)～3月1日(金)の2日間コースに、マイクロバスで参加します。ビキニ被災70年記念シンポジウムに参加を希望される方や新幹線をご希望の方は、別途相談に応じます。



- 2月28日(水) 14:00～16:30 ビキニ被災70年記念シンポジウム 会場：静岡グランシップ・会議ホール・風
- 2月29日(木) 8:30 愛知県代表団・一般代表 マイクロバス 金山総合駅北のイオン南側集合、目印「愛知県原水協」のぼり旗
- 11:30～12:30 JR静岡駅南口 昼食
- 13:00～15:00 2024年3・1ビキニデー日本原水協全国集会・全体集会 会場：静岡グランシップ・中ホール
- 15:30～18:30 2024年3・1ビキニデー日本原水協全国集会・分科会 会場：静岡グランシップ内
- 18:45 静岡グランシップ前に集合 ※会議終了後、マイクロバスで移動します。
- 19:00 静鉄ホテルプレジオ静岡駅南着 各自夕食、自由行動、各団体交流へ
- 3月 1日(金) 8:30 ホテルをマイクロバスで出発
- 9:30 JR焼津駅南口集合・行進出発 献花墓参行進 ※歩かない方はマイクロバスでお墓の前まで着けるようにします
- 10:30～ 久保山愛吉氏・墓前祭 会場：弘徳院境内
- 12:30～13:15 代表団交流会 会場：静岡市市民文化会館第一会議室
- 13:30～16:00 被災70年2024年3・1ビキニデー集会 会場：静岡市市民文化会館大ホール
- 16:15 駐車場に集合・出発
- 19:20 金山総合駅着

- <参加費>
愛知県代表団 一般参加費(2日間コース)：25,500円/ (3日間コース)：39,310円。
- ◇2/28 ビキニ被災70年記念シンポジウム ※通訳機材使用料
※現地 一般 1,000円 学生以下 500円
 - ◇2/29 日本原水協全国集会/全体集会・分科会
※現地 一般 3,000円 学生・被爆者・障害者 1,500円 高校生 500円
 - ◇3/1 3・1ビキニデー集会
※現地 一般 1,500円 学生・高校生・被爆者・障害者 500円
 - ◇オンライン参加費：各大会ごと1,500円
- 締め切り 2024年2月10日(土)
代表団結団式 2024年2月23日(休・金) 午後1時半 愛知民主会館2階会議室



謹賀新年

謹んで新年のお祝いを申し上げます
昨年も原水爆禁止運動へのご理解、ご協力に心から感謝いたします
皆様のご協力により新年を迎えることができました
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

<p>自治労連春日井市職員労働組合 春日井市島松町五丁目四番地 電話 〇五六八八一三二七八</p>	<p>名古屋市職員労働組合 名古屋市中区三の丸三丁目一番一 電話 〇五二一九六一七八二 FAX 〇五二一九七一四三三六</p>	<p>自治労連愛知県本部 執行委員長 林 達也 名古屋市中区柳原三丁目七番八号 電話 〇五二一九六一二二五一</p>	<p>名古屋中川地域労働組合センター 名古屋市中川区中郷一丁目一四二 電話 〇五二一三五二一五九五 FAX 〇五二一三六二一九三〇五</p>	<p>愛労連港地区労 名古屋港区入船一八上六全港湾内 電話 〇五二一八七七一五六一</p>	<p>愛知県労働組合総連合 日本政府に核兵器禁止条約を批准させよう 9条改憲NO! 戦争法・秘密法・共謀罪は廃止! 9条を守ろう! 米軍再編強化反対! 辺野古新基地・高江のヘリパッド建設反対! 名古屋港の軍事利用反対! 核兵器禁止条約を批准させよう! 原発再稼働反対! 原発をなくそう! ロシアはウクライナから撤退せよ! ウクライナに平和を! ガザ攻撃の中止を! ガザの虐殺を止めよ!</p> <p>名古屋熱田区沢下町九一七 労働会館東館3F 電話 〇五二一八七七一五四三三 FAX 〇五二一八七七一五六一八</p>
<p>JMITU愛知支部 日本金属製造情報通信労働組合 名古屋熱田区沢下町九一三 労働会館本館四〇二 電話 〇五二一八八三一六九七四 FAX 〇五二一八八三一六九七五 E-mail:jmitu_aichi@roten.net</p>	<p>愛知医療介護福祉労働組合連合会 ふたたび白衣を 戦場の血で汚さない TEL: 052(883)6955 Mail: irouten@roten.net</p>	<p>新日本婦人の会愛知県本部 核戦争の危険から 女性と子どもの生命をまもりまます 名古屋熱田区沢下町九一三 電話 〇五二一八八三一六九七二 FAX 〇五二一八八三一六九七二</p>	<p>名古屋市立高等学校教職員組合 生徒一人ひとりを大切に民主的な学校づくりを 名古屋市中区新栄1-49-10 愛知県教育会館内 電話 052(261)1117 FAX 052(261)5684 meikouky@aquas.ocn.ne.jp</p>	<p>愛知県高等学校教職員組合 教子の子を再び戦場に送るな 名古屋市中区新栄一丁目九一〇 愛知教育会館内 電話 〇五二一八七七一五六一</p>	<p>全日本建設交通一般労働組合 愛知県本部 運輸・建設・学童保育の労働相談は建交労働 名古屋市中川区宮脇町2-99-2 執行委員長 田村一志 電話 〇五二(三三三)一九二一</p>
<p>愛知県商工団体連合会 NOWAR! 平和こそ商売繁盛! 消費税を今すぐ5%に減税! 中小企業の営業と生活を守って70年 名古屋熱田区新尾頭一四一三林ビル2階 電話 〇五二一六七九一六九一</p>	<p>愛知地域労働組合きずな 労働組合はあなたの味方です 一人からでも加入できる 名古屋熱田区沢下町九一七 電話 〇五二一八八三一六九六七 FAX 〇五二一八八三一六九六一 E-mail:aiti_kizuna@yahoo.co.jp</p>	<p>みんなの力で核兵器ゼロへ コピーあいち労働組合 千四八〇一四二二 長久手市蟹原二〇〇一 名東センター2F 電話 〇五二一八七七一五六一</p>	<p>革新市政の会 核兵器禁止条約批准へ、草の根の運動を! 平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会 (革新・愛知の会) 千四六二一〇〇六 名古屋熱田区沢下町9-7労働会館東館306 電話 〇五二一八七七一五六一</p>	<p>革新県政の会 だれもが「住んでよかったね」と言える名古屋に 憲法をいかに、生活をまもろう 〇し・教育・平和を守る清潔な革新県政をつくる会 千四六二一〇〇六 名古屋熱田区柳原町三二七七八 電話 〇五二一八七七一五六一</p>	<p>力を合わせてつくりましょう くらし応援・平和を守る・憲法が生きる県政 革新県政の会 だれもが「住んでよかったね」と言える名古屋に 憲法をいかに、生活をまもろう 〇し・教育・平和を守る清潔な革新県政をつくる会 千四六二一〇〇六 名古屋熱田区柳原町三二七七八 電話 〇五二一八七七一五六一</p>

<p>日本共産党 一宮尾北地区委員会 一宮市八幡二一三三三〇 電話 〇五八六一四五一五四二四</p>	<p>日本共産党 名古屋熱田・中村・中川地区委員会 名古屋市中川区上石川町三二二一三 電話 〇五二一四二二一四六一</p>	<p>日本共産党 名古屋港・南・瑞穂地区委員会 名古屋港区東海通五〇四 電話 〇五二一六五二一八四一 FAX 〇五二一六五二二二六六</p>	<p>日本共産党 名古屋昭和・天白・緑地区委員会 名古屋市中区天白井口一〇二〇一七 電話 〇五二一八〇七一一〇九二</p>	<p>日本共産党 名古屋千種・名東・守山地区委員会 名古屋千種区末盛通四一八 電話 〇五二一七六二一六八二〇</p>	<p>日本共産党 名古屋東・北・西・中地区委員会 名古屋北区御成通一〇二五 電話 〇五二一九二二一六〇九六</p>
<p>日本共産党 東三河地区委員会 豊橋市大橋通三二一五三 電話 〇五三二一五四一八二二五</p>	<p>日本共産党 西三河地区委員会 岡崎市広幡一 電話 〇五六四一三二二七八五</p>	<p>日本共産党知多地区委員会 半田市亀崎北浦町一丁目五三 電話 〇五六九二一九二〇一一</p>	<p>日本共産党 尾張南部地区委員会 千四九二一八二四稲沢市小池三丁目二四一〇 電話 〇五八七七一三七七五 FAX 〇五八七七一三七七五</p>	<p>日本共産党 尾張東部地区委員会 千四八九一〇八六二瀬戸市八幡町三八一 電話 〇五六一一八二一九八八 FAX 〇五六一一八四一八〇二二</p>	<p>日本共産党 尾張中部地区委員会 春日井市篠木町七一三三三 電話 〇五六八一一八五四九七</p>

2023年 愛知県原水協の軌跡



- 1月** 元旦宣言 熱田 神宮東側
- 8日** 反核・平和新春学習会
- 22日** 核兵器禁止条約発効2周年記念宣言
- 2月** 23日 ビキニデー愛知県代表団会議・定期総会
- 28日** 3・1ビキニデー日本原水協全国集会現地&オンラインで開催
- 3月** 1日 3・1ビキニデー集会 愛知県からは約75名が現地参加・150名がオンライン参加
- 4月** 統一地方選挙
- 5月** 7日 平和ゼミナールの高校生が大須で署名
- 6月** 5月31〜6月11日 あいち平和行進参加者4,549名ペナント960本折り鶴270,957羽署名415筆行進募金595,207円
- 11日** あいち平和行進岐阜県へ引き継ぎ
- 13日** 被爆体験聞き取りプロジェクト(ききプロ) 名古屋市在住の被爆者から聞き取り
- 18日** 愛友会・2022年度被爆者行脚のまとめ報告会
- 26日** 被爆体験聞き取りプロジェクト(ききプロ) 大口町在住の被爆者から聞き取り
- 27日** 29日 全国高校生平和集会in沖繩 愛知県平和ゼミナールから中高生9名が参加
- 31日** あいち平和行進 静岡県から引き継ぎ
- 行動** 1時間で50筆
- 13日** 日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める愛知県民の会・G7サミット開催に呼応! 被爆者の声を届ける愛知行動 名古屋・栄スカイル前
- 20日** 愛友会定期総会
- 31日** あいち平和行進 静岡県から引き継ぎ



姉の声を世界に届けるために 愛友会理事長 金本 弘

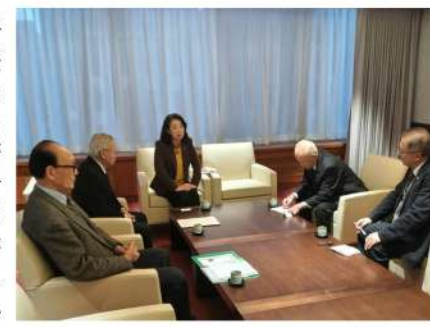
78年前の広島、15歳の姉に背負われた生後9か月の私は、爆心地から2・5kmで被爆した。私の命の恩人であり、78年間ずっと私を支え励ましてくれた大切な姉が10月27日に病に倒れた。いつか別れる時が、動揺し、NY行きを諦めた。それから2週間回復を祈ったが、11月10日亡くなった。葬儀を終えても悶々とした日が続いた。母も兄も倒れてから1か月ぐらいいは生きたのに、姉が2週間で逝ってしまったのは、解せない。広島から名古屋までの新幹線は長い。姉との



交流を思い出しながら、今の私をみて、姉はどう思うだろうか。『ヒロシマ、行きんさい!!』姉はきつとそう言う。今まで姉は私のやることに反対したことはない。いつも応援してくれていた姉に感謝し、涙が溢れた。イザヤの壁から、アメリカとロシア代表部までパレードを行い、その中で「78年前、アメリカは世界で初めて原子爆弾を使用した。核兵器禁止条約に最初に参加すべきはアメリカだ」と発言し、「原爆を許すまじ」を歌った。



日本政府代表部に日本被団協として訪問・要請を行い、志野光子大使と面談し「生きていくうちに核廃絶を願っている私たちが被爆者には時間が限られている。早急に核廃絶を!!」と発言した。同時に日本原水協として訪問・要請した時は「日本政府が核禁条約に入らないのは何故か。世界は加入するの



将来ある若者が苦しむ姿を想像したくない。互いに自己紹介し、親しくなり、プレゼント交換も。日本からは瀬戸焼のペンダントを配った。

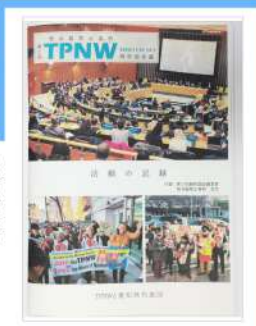
現地に来ていた共同通信の取材に開会中におこなった発言をまとめる形で以下のように答えた。アメリカへ訴えたい。核禁条約は広がり、近い将来核保有国の存在は、世界から核兵器廃絶へと追い詰められる。今、ロシア、イスラエルに核使用の懸念がある。核兵器は人類と共存できないことを理解し、国民に「1945年広島・長崎への原爆使用は正しくなかったことを認め」核禁条約に加入し、ロシアを始め、核保有国・日本を加入へと導く方

向へ向かうことが、アメリカのアメリカらしい取りべき姿勢だと思

第2回締約国会議を終えて、参加国、多くに未締約国が35か国、オブザーバーとして参加していることは核禁条約が着実にその効果を発揮しており、被爆者を勇気づけている。

各地域・団体で報告会・学習会を開催し、締約国会議と宣言を学び、その成果を確信に2024年は「日本の禁止条約参加・核のない公正な世界」を求め、草の根から世論と運動を大きく広げていきたいと思います。

報告会・学習会の講師要請は事務局まで。



TPNW 第2回締約国会議 活動の記録
報の被爆者の代表など
代表で代文など
知会団言
告やや宣
者や言
言、領

8月
4日(8日) 原水爆禁止2023年世界大会 ※台風の影響により9日ナガサキデー集会を8日に開催
4日・5日 国際会議
6日 ヒロシマデー集



7月
8日 I P B 提唱「平和の波」行動 名古屋・栄スカイル前
16日 東海北陸地域被爆二世・三世交流会
23日 核兵器禁止条約の学習・交流会
30日 原水爆禁止2023年世界大会 愛知県代表団結団式

9月
25日 原爆犠牲者を偲ぶつどい(愛友会主催)
26日 核兵器廃絶国際デー宣伝 名古屋・栄スカイル前
10月
14日 被爆体験聞き撮

10日(14日) あいち・平和のための戦争展
19日・20日 金山駅コンコース「原爆と人間展」



8日 全国高校生平和集会・長崎デー集会
愛知県からのべ105名が現地参加 オンライン参加は170名以上
6日(9日) 「平和の波」行動 県内各地で平和の鐘つき・署名宣伝・スタンディングなど

12月
10日 高蔵寺弾薬庫1周年マラソン 会場
23日 被爆者をほげますつどい(支援ネットワーク)

11月
2日 愛知県・名古屋市に平和行政要請行動
平和委員会・安保破壊実行委員会・非核の政府を求める会と共に要請
27日(12月1日) TPNW第2回締約国会議

15日 平和ゼミナール ナガサキツアー報告集会
22日・23日 東海北陸ブロック被爆者健康相談会 岐阜市で開催
25日(11月28日) 被爆者行脚(愛友会) 愛知県内55自治体全てと懇談・要請
28日 国連軍縮週間宣伝 名古屋・栄スカイル前
29日 小牧平和市民集会 小牧市・市之久田中央公園 会場パネ

被爆者の話を聞き、思いをつなぐ 被爆者を励ますつどい

12月23日(土)、保健医療協会伏見会議室にて「被爆者を励ますつどい」が開催されました。会場に50名、オンラインでも10名程が参加しました。被爆者は6名が参加し、愛知県高校生フェスティバルと愛知県高校生平和ゼミナール合わせて14名の中高生も参加しました。反核医師の会の中川医師から開会のあいさつがあり、続いて愛友会副理事長の大村義則さんからニューヨークの国連本部で開かれた核兵器禁止条約の第2

回締約国会議に参加した報告が行われました。高校生の参加が多かったので、国連や国連憲章の説明からはじまり、核兵器禁止条約の持つ意義、いま国連の中で核兵器禁止条約がどのように位置づけられているかなどが語られました。その後、3つのグループに分かれお弁当を食べた後、被爆者を囲んで懇談を行いました。被爆者の話を初めて聞いた高校生は、爆風で窓ガラスが割れ寝ていた布団に刺さっていた話や腐乱した死体の匂いが忘れられないなど、被爆者が語る生々しい被爆体験に、聞き入っていました。



話を聞いた中高生からは「普段、戦争や原爆について聞いたり、話したりすることがないのでとてもいい機会だった」「被爆者は肉体的な苦痛だけでなく、精神的な苦痛を負っている。子どもや孫への影響の心配がいつまでも続くという事は非人道的だと思った」などの感想が語られました。また、参加者から「ひとりひとり被爆体験は違う。直接話を聞くことが大切」「改めて被爆体験を継承していくことの大切さを感じた」などの感想がありました。文化企画として、高フエスのみなさんが自作の群舞を披露してくれ、「広島を訪れた時、平和に対する学習の差に驚いた。私たちは体験者から話を聞ける最後の世代として語り継いでいきたい」とあいさつがありました。

